三ツ堀地区 人・農地プラン

市町村名	集落／地域名	当初作成年月日	直近の更新年月日
喜多方市	塩川町三ツ堀地区	平成27年12月	令和3年3月

1 地域農業の現状

① 農家数	33 戸 (うち集落内 30 戸 うち集落外 3 戸)				
② 日本型直接支払の取組	☒ 多面的機能支払(資源向上支払 ☒ 有 ☐ 無) ☐ 中山間地域等直接支払				
③ 農用地利用改善団体	有 ☐ (無) (名称:)				
地域内の農地の利用状況		田 (ha)	畑 (ha)	計 (ha)	割合
④ 集落・地域内の耕地面積	25.2	0.01	25.2	/	
⑤ アンケート調査等により把握した農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	/				
⑥ 中心経営体の現在の耕作面積の合計(担い手への集積率)			17.3	68.6%	
⑦ 5年後までにリタイア・規模縮小予定の耕作者の耕作面積	9.0	0.0	9.0	35.8%	
⑧ 75才以上の農業者の現在の耕作面積	14.6	0.0	14.6	57.9%	
ア うち後継者が確保されている耕作者面積	2.9	0.0	2.9	11.6%	
イ うち5年後までにリタイア・規模縮小予定の耕作者の耕作面積	6.4	0.0	6.4	25.4%	
⑨ 今後中心経営体を引き受ける意向のある耕作面積の合計			12.8	50.8%	
⑩ ⑨と⑦の面積の差額			3.8	15.0%	
(⑩の差額に関する所見)					
今後、リタイア・規模縮小予定の耕作者が出てきた場合には、担い手が引き受けることができる。					

2 地域農業の課題

① 担い手の育成・確保について	現在担い手に位置付けている生産組合の組合員の高齢化が進み、3年後、5年後にはリタイアする人が出て来ると考えられることから、新たな組合員の確保を検討する必要がある。
② 担い手への農地の集積・集約化について	担い手の経営農地の中に、他の耕作者の所有地が点在しているので、作業受託を進めるなどにより、営農の効率化に向けて解消を図りたい。
③ 農作業の効率化について	生産組合構成員の個々の農家で農業用機械を保有しており、機械の共同利用や農作業の共同化を進めていく必要がある。
④ その他地域農業全体について	遊休農地の拡大等は見られないが、全体的に農業者の高齢化が進んでいる。離農する若者も増加傾向にあり、今後、農地の受け入れ先となる担い手の確保が難しくなって来ている。

3 (つづき)現状と課題をふまえた今後の地域農業のあり方

③ 農作業の効率化について	対応				
<p>< 水稲 >の< 育苗・耕耘・代かき・防除・稲刈り >の作業については、< 三ツ堀生産組合 >を中心に共同作業を行って効率化を図る。</p>	○				
<p>農作業受託組織が基幹的な作業(耕起 代掻き 田植え 稲刈り 乾燥調製 その他())を請け負い、作業の効率化を図る。</p>					
<p>農業機械・施設の共同利用を実施し、過剰投資の抑制と低コスト化・省力化を図る。</p>	○				
<p>担い手と担い手以外の農業者等の役割を明確化する。</p> <table border="1" data-bbox="268 712 1385 963"> <tr> <td data-bbox="268 712 323 840">☐</td> <td data-bbox="323 712 1385 840">畦畔管理、草刈、防除など、担い手の規模拡大の支障となる<u>日常的な作業は、担い手以外が担う</u></td> </tr> <tr> <td data-bbox="268 840 323 963">☐</td> <td data-bbox="323 840 1385 963">地域内の農道、農業用排水路などの<u>管理作業は、担い手と担い手以外の農業者等が共同して地域ぐるみで取り組む</u></td> </tr> </table>	☐	畦畔管理、草刈、防除など、担い手の規模拡大の支障となる <u>日常的な作業は、担い手以外が担う</u>	☐	地域内の農道、農業用排水路などの <u>管理作業は、担い手と担い手以外の農業者等が共同して地域ぐるみで取り組む</u>	
☐	畦畔管理、草刈、防除など、担い手の規模拡大の支障となる <u>日常的な作業は、担い手以外が担う</u>				
☐	地域内の農道、農業用排水路などの <u>管理作業は、担い手と担い手以外の農業者等が共同して地域ぐるみで取り組む</u>				
<p>その他 []</p>					
④ その他地域農業全体についての取組方針	対応				
<p>地域ぐるみで共同活動を実施し、農道・用排水路等の維持管理と遊休農地の発生未然防止を図る。</p> <p>☒ 多面的機能支払(☒資源向上支払) ☐ 中山間地域等直接支払</p> <p>☐ その他 []</p>	○				
<p>地域内に再生可能な遊休農地を利活用できる農業者が見つからない場合は、地域ぐるみで農地の保全管理((耕耘や草刈り等)を行うことで遊休農地の解消・発生防止を図る。</p>					
<p>野生鳥獣による被害を防止するため、侵入経路や目撃・被害発生箇所のマップ化、効果的な防止対策(電気柵、侵入防止柵、檻の設置など)などを実施する。</p>					
<p>その他 []</p>					